

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・今月は天候不順が続き、その対応に苦慮したが、条件が合ったときは、過去最高の売上や来客数を記録する日があった。これから天気が安定してくるし、ゴールデンウィークや7年に一度の祭等もあるので、好機はある。
		テーマパーク（職員）	・新規投資を行っており、その事業に対する取材などが多数発生し、テレビや新聞など報道の露出が多くなっていることから、4月の事業開始を鑑みると現在の傾向が続く。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・引き続き、デジタルテレビの売上が伸びてくることに加え、夏物の冷蔵庫やエアコン等のエコポイント対象製品が伸びる。
		百貨店（営業担当）	・新価格帯の導入、あるいは大型催事等で4、5月は順調にいく。
		百貨店（販売促進担当）	・婦人売り場に引き続き、子ども、紳士関連の商品の動きも今後活発になると予測される。宝飾、美術や一部高額品の売上向上は望めないが、通常商品の買い回り、関連商品の売上は今後伸びるであろうことが予想される。
		スーパー（店長）	・来店客の中には品質重視の人が増えており、安ければよいという状況は少しずつ変化している。
		スーパー（経営企画担当）	・地銀の貸付担当の話では、取引先の試算表がこのところ良くなってきているとのことである。子ども手当が支給されるようになれば、消費は多少良くなると期待している。
		コンビニ（経営者）	・行楽のシーズンに向けて人出があるので、いろいろな給付金があるので、お金を使う人が増えてくる。
		コンビニ（経営者）	・最近になってやっと、以前からの客がまた店に戻り始めた。来客数は前年を割った日が多かったが、最近は少しずつ前年並みになってきている。客単価はまだ低いが、2～3か月後にはいくらか良くなる。
		家電量販店（店長）	・新年度から新エコポイント制度がスタートするため、テレビ以外にも冷蔵庫、エアコン等の対象商品は若干上向く。
		住関連専門店（仕入担当）	・ゴールデンウィークは巣ごもり傾向が続くと予測され、住関連販売には追い風と思われる。子ども手当の支給開始もプラス要素として働く。
		一般レストラン（経営者）	・観光シーズンと各種行事が重なり、客の動きが良くなってくる。県のメイン会場になるので今年は観光客の増加が見込まれる。
		観光型ホテル（営業担当）	・こここのところ訪日外国人客の予約が好調である。4月からは観光シーズンでもあり、鉄道会社や自治体とも協同して行う観光キャンペーンによる施策にも期待している。
		旅行代理店（従業員）	・新年度を迎え、これから夏場の受注が始まるので、それを期待して販売活動をしている。客の反応もまずまずである。
		通信会社（局長）	・現在デフレスパイラルの中で、顧客の財布のひもが固くなっているものの、アイデア商品や本当に必要な商品への購買性は増しているため、将来性の感じられる政治判断があれば、決して悪くならないという期待がある。ケーブルテレビにおいても革新的な商品開発や契約後の顧客ケアにより、販売数量は増える見通しである。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・映画のロケに関係して集客が見込めるため、若干売上も良くなっている。来客数も前年比8%くらい増えているので、やや良くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・徐々にではあるが回復しているような気がする。
	変わらない	商店街（代表者）	・客の購買動向を見ていると、趣味的なもの以外は低価格商品にしか手を出さない。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・景気回復の要因が無い。とにかく消費は冷えている。まだまだ悪くなることもありうる。
		百貨店（営業担当）	・個人消費はまだ冷えて入っている。客単価も下がっており、買上客数も減っている。この状況は当分続く。
		百貨店（販売促進担当）	・米国の大手金融機関の破たん以後の1年間と比較すると、徐々にではあるが回復基調にある。しかし、消費者の低価格志向は今後も続くため、厳しい状況は変わらない。
		スーパー（経営者）	・食品のデフレ傾向は続いている。
		スーパー（総務担当）	・製造業などは受注が増えて来たと聞いているが、小売にはまだ影響が出ていない。食品を中心に価格の安い物に集中している。

スーパー（総務担当）	・客は価格に非常に敏感で、低価格品を中心に、必需品は数量的に売れているが、その分売上が取れない状況である。良い物についてはほとんど大きな動きはなく、全体的にはほぼ前年割れの95%前後で、ここ数か月も推移する。
スーパー（統括）	・同業種だけでなく異業種間との競争の激化による単価ダウンが止まるまでは、根本的な消費の回復、経営状況の改善は望めない。
コンビニ（経営者）	・海や川等の行楽客が増えると思うが、そんなには期待できない。
コンビニ（店長）	・2～3か月先になると、大分陽気が変わってきて、気候も暖かくなってくるので、それに伴って販売量は若干伸びてくるだろうが、景気自体は変わらない。購買意欲が上がる要因も下がる要因も特別見当たらない。
コンビニ（店長）	・週末、特に日曜日の街の中は大変静かになっており、学校が春休みに入っている今月末は、曜日を問わず暇であった。各種セール連続で、客単価は下がる一方である。先行きは、せめて現状維持ができないと店の体力が持たない。
衣料品専門店（経営者）	・ファッションにもエコポイント制度が欲しい。
衣料品専門店（店長）	・今の状況から考えると、2～3か月先も、景気が好転するとは考えにくい。
衣料品専門店（販売担当）	・現状があまりにも悪い状態であり、これから良くなる要素があるとすれば、暖かさが出てきたときに消費行動に気分が動くというくらいである。安心感がまだない状況なので、これからも厳しい状況が続く。
乗用車販売店（営業担当）	・3月は、予定外の商談が発生し、販売台数を確保できた。今後は継続中の商談を含め、新規発掘に期待したい。
乗用車販売店（営業担当）	・車が売れる要素は全くない。
乗用車販売店（販売担当）	・地元観光地が持ち直していないので、輸入車の販売は悪いままの状態が推移していく。
乗用車販売店（管理担当）	・エコカー購入補助金が9月まで延長されたため、やや販売は上向きであるが、制度終了後、経済が回復しているとは思えない。また、雇用環境も非常に厳しい。
乗用車販売店（販売担当）	・3月は年度末であり、例年車の販売は良くなるので、今年も良かった。しかし、補助金が出たために今月が良くても、2～3か月後は変わらない。補助金が無くなった後が不安である。
住関連専門店（開発業務責任者）	・雇用問題、年金及び将来の不安から、小売の販売量増加は見込めない状況である。
高級レストラン（店長）	・若干人の動きが出てきたように感じられるが、下げ止まっただけで、回復までにはまだ半年くらいかかる。
一般レストラン（経営者）	・メニューの見直し、単価の見直し等の方策により、一時は続くが、結果として利益増につながる方策とは限らない。
都市型ホテル（支配人）	・ホテルの宿泊の基本であるビジネスマンの動きが、ここ2、3か月大分鈍くなっている。景気回復の効果が表れてきていないような状況で、もうしばらくは出張が増えない。
旅行代理店（副支店長）	・良くはならないと思われるが、上海万博に気が向いてくれば、それを足掛かりに多少は旅行者が増えてくると願いたい。
タクシー運転手	・春の観光シーズンに期待したいが、マイカーや格安バスツアーでの観光地巡りが多くなり、貸切タクシーを利用する人は激減している。
通信会社（営業担当）	・ネットワーク利用の更新等に増加がなく、通信費の増加には抵抗感を持ち、請求に対し八つ当たりの怒りをぶつけてくるが増えてくる。
ゴルフ場（従業員）	・来場予約が前年とほぼ同じである。
ゴルフ場（支配人）	・民事再生ゴルフコースのプレー料金の低料金化が続き、生き延びていくための予約や、営業収入が圧迫されている。
その他サービス [フィットネスクラブ] (マネージャー)	・子ども手当等の話題が客の間であがっているが、食事等の慎重な消費に回りそうなので、景気が変わるほどの影響力はない。
設計事務所（所長）	・まだまだ悪いままの状態が続く。周りの雰囲気にも良くなる兆しは感じられない。
設計事務所（所長）	・来期に向けてキャンペーンなども行う予定であり、良いスタートが切れるよう頑張りたい。
やや悪くなる	商店街（代表者） ・新学期の入学関連がとても良かったので、このままいくとも思えず、悪くなる。また、クラブ活動等に関係した売上はやや落ちるのではないかとみている。

商店街（代表者）	・近所で室内装飾の仕事をしている人が、月に10日以上仕事のない日が続いていて、先行きが真っ暗だと言っている。	
商店街（代表者）	・周辺で閉店が増え、新規入店もなく、商店街は灯が消えたようである。	
一般小売店〔家電〕（経営者）	・引き続き地上デジタル関係のエコポイント制度絡みの商品の動きは見込まれるが、同じポイント対象商品でもエアコン、冷蔵庫の動きは良くない。購買意欲が冷めている中で、商品の動きは天候に左右される面もあり、先行きの売上増は厳しい。	
百貨店（総務担当）	・食品関係は定価品の売上が伸び悩み、目玉商品が多いため、粗利の確保が難しくなった。衣料品は8千～2万円の高額商品が一番売れていたが、今は5千円止まりが多く、全体を見ると減少傾向である。	
乗用車販売店（従業員）	・販売量を上げるのが非常に厳しい状況は変わらない。今後の見通しとしても良くなる状況ではない。	
自動車備品販売店（経営者）	・近郊の工場などがだんだん縮小されて、働く場が無くなっている。働く場をなんとか確保するような動きがあれば将来性もあるが、そうではない機運が強いので、どうしてもマイナス傾向にある。	
一般レストラン（経営者）	・消費者が金を使えないのか、使わないのかは分からないが、非常に財布のひもが固くなっている。流通業、飲食業、サービス業すべてにおいてそういう傾向がある。	
都市型ホテル（スタッフ）	・4～6月は前年比で200～300少ない予約状況にあり、ネットはちょっと読みきれない。エージェントの団体関係は少しずつではあるが増えつつあるものの、以前のような獲得は非常に難しい状況にある。ネットの個人客、法人や企業の動きが今後期待される。	
通信会社（経営者）	・L P ガス販売店の話では、月々のガス代金の支払い遅延や全く払えない客がどんどん増えており、みな失業中とのことである。地方の中小零細企業は、もう限界まで疲弊しきっており、何とか保護しないと、この状態のままでは雇用が上向くはずがない。	
遊園地（職員）	・一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響が大きく、消費マインドが冷え込んでいる。もうしばらくは消費単価の大幅な伸びが期待できない。	
ゴルフ場（業務担当）	・現時点で先々の取り込みは前年を大幅に下回り、また、4、5月の出足が少し悪く、ゴールデンウィークの取り込みについては低調になっているため、先行きは少し不安材料が残る。価格面、競争相手の関係など、もろもろあるが、いずれにしても客は価格、金額に敏感であり、なかなか難しく、先行きが読めない状況である。	
競輪場（職員）	・一番大きい大会であるダービーの売上目標額が10%ほど低下した上、前年比も減少している。	
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新車の売上台数が徐々に回復を見せる中、車検台数は毎年緩やかに減少を続けている。在庫台数の減少もさることながら、利益が薄く、全く売上が上がらない。	
その他サービス〔清掃〕（所長）	・就職、入学、歓送迎会、5月の大型連休など個人消費の機会は増加するが、所得が減少している中で厳しい状況が続き、回復する見込みはない。	
設計事務所（所長）	・年度末という理由だけでなく、一向に先が見えない。我々の仕事は数か月先になってやっと成果が上がるものであるが、現在の状況から言えば、ここ数か月は良くなる見込みは見えない。	
住宅販売会社（従業員）	・高額な消費は敬遠されがちであり、別荘販売の不振は長期化する。	
住宅販売会社（経営者）	・世情で心配されている二番底が来ると予想して、顧客の財布のひもはいまだ固い。まだまだ地方では政府の発表のような回復は当てはまらないことが多い。	
住宅販売会社（従業員）	・受注の減少は完工高の減少に直結するため、収益の悪化は避けられない。	
悪くなる	商店街（代表者）	・いろいろな人が知恵と汗を絞ってもなかなか結果が出ておらず、少しずつ積み上げる努力をしても時間は掛かる。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・いろいろな状況の中、商売が良くなるような気配は全く感じられない。残念だが、まだまだ良くない状況が続く。
	コンビニ（経営者）	・空きビルが増えているのと同時に飲食店が減り、更には飲食店を利用する人も減っており、夜間の客が減っている流れも目立つ。
	衣料品専門店（経営者）	・特に年配客の購買欲が無いようである。

		家電量販店（営業担当）	・エコポイント制度の反動が予想される。
		旅行代理店（従業員）	・4月からは春の旅行シーズンに入るが、仕事の受注が極端に悪い。
		通信会社（経営者）	・販売量ももちろん重要だが、販売先の入金状況がさらにひどい。サイトが1か月また1か月と延び、運営資金さえまならない現状なので、2～3か月で上向く事はありえない。
		設計事務所（経営者）	・明るい話は無く、将来の客の設備投資等に期待している。
		住宅販売会社（経営者）	・大手企業の閉鎖、撤収などが無くならないと、景気は良くならない。また、デフレ現象に歯止めが掛からないと、景気は上向きにならない。
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・今後2～3か月先の受注量については、前年比約150%近く増加している。着実に輸出関係が増えているので、景気は良い方向に向かっている。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・秋口までの大物は受注、製作、納品に少し間が空くが、新型回収機の開発と合わせて忙しくなる。
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・休日の高速道路料金引下げの影響もあり、暖かくなるにつれて来客数の増加が見込まれる。各メーカー共独自の企画を立案しており、工場見学者も増加する。
		金属製品製造業（経営者）	・このところの景気動向に関連して、大手銀行の貸手企業の選別があるようで、当社も取引先がすべて大手だけに、われわれ中小企業に対して、貸付依頼の攻勢が非常に激しい。銀行の金余りと企業の資金上の減少が激しくなっていて、今、地方に中央の大手が熱心に攻勢を掛けている。
		金属製品製造業（経営者）	・4月ごろから仕事量が増える予定であったが、予定が延びた。6月になったら仕事量が多くなると期待しているが、やはりその月になってみないと分からないので、早く仕事量が多くなって欲しい。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国向けの自動車部品の量産案件と近隣の自動車メーカー増産に伴う応援加工案件が立ち上がる予定である。建設機械関連の仕事も動き始めている。
		広告代理店（営業担当）	・予算カットや削減も限界まできているので、新年度に入ると宣伝広告費も多少使えるようである。
		経営コンサルタント	・下請製造業の受注、中小建築業の住宅の引き合い、受注などで数量が上向いているところもあるが、まだ多くは直前の業績の山を目指している段階である。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合いは増加傾向にあるが、価格面での厳しさは当面続く。収益はなかなか改善されない。
		変わらない	食料品製造業（製造担当）
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新製品を開発し、Web、店頭にて発売したが、先行きは不透明である。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・新規品の受注努力を重ねた結果、4～5か月後から2～3%ほどアップしそうになったが、従来品がなくなる可能性があるため、総受注量に変化はなさそうである。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・例年であれば3月から客先のシステム受注が上昇するが、この景気状況からあまり期待ができない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・新年度の生産計画は、どんどん増産したり、新機種を出して拡大するというのではない。60～70%の受注量で推移し、新規受注もかなり厳しく、材料費も高くなっているため、利益も相当圧迫されているのが現状である。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・2、3月は昨年と比較すると、150%くらい仕事が増えて良かったが、今後2～3か月は、これ以上良くなると思えない。しばらくは変わらない。	
	輸送業（営業担当）	・消費財の物量は、店舗向けは落ちているが、テレビショッピングやインターネット、通販等のセンター向けや個人向けは伸びている。しかし、価格、経費など利益幅が少ない状態で、運賃経費のコストとしても厳しく、現状の景気や燃料の高騰等とのバランスを考えると、現状維持が精一杯である。	
	金融業（理事）	・上向きの業種もあるが、製造業を中心に依然として厳しい業種も見受けられることから、総合的には変わらない。	
	金融業（経営企画担当）	・製造業においては、米国の大手金融機関の破たん後の最悪期は脱したものと判断される。中国進出、新規事業参入、新規取引先の開拓等、積極的に対応している企業との二極化がさらに進むと思われるが、全体的には今後の見通しについては明るい状況は感じられない。	

		金融業（調査担当） 新聞販売店〔広告〕 （総務担当） 社会保険労務士	・現在と同様の状況が続く。 ・昇給や就職などの具体的事実が伴わない限り、報道だけでは今後、消費に回るものは増えない。新聞購読が出来ない理由の大半は、生活苦やリストラなどで、生活不安を挙げる人が依然として多い。 ・物を修理したりするメンテナンス関係の仕事はそこそこあるが、新たに物を買う動きが鈍いので、まだまだ厳しい状況が続く。
やや悪くなる		化学工業（経営者） 電気機械器具製造業 （経営者） 通信業（経営者） 金融業（総務担当） 不動産業（営業担当）	・4、5月とメイン商品の受注の話が全く出てきていない状態で、さらに稼働日数も少ないので、頭が痛い。 ・現在は何とか仕事量は埋まっているが、先が全く読めない状況は相変わらずである。長期的には非常に心配している。 ・中小企業における雇用の衰退と経費節減により販売量が減少しつつある。 ・受注減や、取引内容の見直しによる受注量の減少が見込まれる、と複数の取引先が話している。 ・今は年度末ということもあって特殊な需要があるが、2、3か月後は一旦冷え込む。エコポイントや減税等もあるが、それとはまた違った形での刺激がないと個人消費が伸びないし、お金が回っていかないので、全体的には少し落ちる。
悪くなる		電気機械器具製造業 （営業担当） その他製造業〔宝石・ 貴金属〕（経営者） 建設業（総務担当）	・客先を訪問しても、4月以降の仕事の話が全く無く、先行きの受注予定が立てられない。 ・一般的に春先はジュエリーが動く時期だが、現在の市況から展示会の採算が見込めず、昨年まで行われた大きな展示会の企画も減少している。販売単価が下がっている中で販売機会の減少なので、この先は更に厳しい。 ・現在の受注状況と工事の進捗状況を考えた場合、5月ごろ資金繰りが厳しい状況になりそうであり、現在当社の置かれている状況では金融機関から新規の融資が受けられないので、先行き大変心配である。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員） 求人情報誌製作会社 （経営者） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（経 営者） 学校〔専門学校〕（副 校長）	・エコポイントの家電関係、自動車、住宅等で求人が上がってきてると予測しており、周辺の企業でも若干住宅関連が出てきているという声を聞いている。 ・主要取引先のホテルでは、昨年よりも稼働状況が若干落ちているが、このところそれほど差がなくなり、安定してきている。地域により変わることはあるが、客の中でも良いところと悪いところの色分けが出てきている。一方、官公庁関係の仕事は、今年度から新年度にかけて前年度枠の予算で推移しそうである。 ・製造業の求人募集は今現在ほとんどなく、まだまだ先行き不透明な現状が続いていく。 ・求人数の増加、求職者数の減少は若干見られるが、極端な改善には至らない。 ・雇用調整助成金（計画）件数は、同様の数で推移している。2年目の再判定を迎える企業が順次出ている。 ・求人をけん引する製造業において、製造部門は海外シフトが続き、雇用確保が難しい。自動車、太陽光、燃料電池関係に明るさが見え始め、期待している。 ・新年度の採用計画をすでに明示している会社はまだ少なく、この1、2年採用を手控えていた企業からの採用計画が多いように感じる。長期計画による採用計画が多数出てくるのが景気回復の傾向である。
やや悪くなる		人材派遣会社（管理担 当） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員）	・今後は取引先の決算期を過ぎて上昇するか、労働者派遣法改正により契約が終了するか不明である。 ・製造業、建設業共に、受注量が伸び悩んでいるところが見受けられ、それが求人に反映している状況なので、今後はやや悪くなる。 ・今月末日において、10人以上の事業主都合離職者が発生する事業所が3件確認されている。その他にも未確認での離職者発生懸念もあることから、更なる求職者の増加が予想される。
悪くなる		人材派遣会社（経営 者） 人材派遣会社（営業担 当）	・各企業の仕事が少なく、売上がほとんど上がらない。 ・失業者の増加による社会不安や、将来の住宅や車等の大型消費に不安がある。政治は「官から民」への時代の流れだったが、「官から官」になっている。また、規制緩和から、規制強化へ逆流しており、大きな政治課題を抱えながらの新年度のスタートとなったため、明るさや展望が不透明である。